

令和元年8月23日

智頭町議会議長 大河原 昭洋 様

議会広報常任委員長 安道 泰治

委員派遣報告書

本委員会の調査事件について、下記のとおり委員を派遣したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 日 時
令和元年8月7日（水）
2. 場 所
鳥取県東伯郡三朝町山田180 「溪泉閣」
3. 内 容
令和元年度鳥取県町村議会広報研修会
4. 目 的
住民と議会との意思の疎通を図り相互信頼を培うため、重要な役割を果たしている議会広報紙の一層の内容充実及び編集技術の向上に資する。
5. 派遣委員
委員5名、議長（議会だより発行責任者）
國本誠一議員、岩本富美男議員、谷口雅人議員、中野ゆかり議員、安道泰治議員、大河原昭洋議員
6. 概 要（まとめ等）
 - (1) 開 会 午後1時
 - (2) 会長あいさつ 鳥取県町村議会議長会 会長 秦 伊知郎 氏（南部町議会議長）
 - (3) 研 修
 - (ア) 講 義①
内容 効果的な議会広報紙の作り方
講師 新日本海新聞社 取締役専務執行役員 田中 仁成 氏

(イ) 講 義②

内容 広報文章の基本パターン・見出しの役割と付け方

講師 鳥取県広報連絡協議会 事務局次長 西村 裕子 氏

(ウ) 広報クリニック (第26回・平成30年度広報コンクールについての解説)

講師 同上

(4) 閉 会 午後4時

7. 所 感 等

議会だより発行の目的と意義は、議会の立場や意見を住民へ伝達することであり、町の広報紙とは違う位置づけであるということに改めて認識した。

いかに住民に手に取ってもらえるか、関心を持って読んでもらうかということが一番に心がけ、簡潔な文章や適切でわかりやすい見出し、読みやすいレイアウト、写真のサイズや使い分け等、講義の内容を参考にして取り組みたい。

特に見出しの役割とつけ方についての講義は、演習問題を解く実践的な方法で見出しをつけるうえでのルールや注意点を学ぶという、今までの研修会にはない、とても参考になるものだった。

また、他町村の紙面企画で講師から評価を得ていたもので、議会と住民の距離を縮めるためのよい取り組みも多数あったため、今後の編集に取り入れていきたい。

広報クリニックにおいては、広報紙作成にかかる各町村の予算の違いにより、出来もかなり異なっているが、総じてよりよいものにするための努力がうかがえる。

今を伝えることが議会広報の重要な要素であり、その顔となるものが表紙であるとの見解から、講師は本町の表紙にいい印象を持っておらず、「何度助言してもスタイルを変えない。」と、諦めのような発言もされたが、一方で、「ポリシーとして受け止めるが、表紙の写真に関連した記事を紙面内に掲載するなど、紙面の工夫が必要ではないか。」と、ひとつの企画として認知され、改善策を提案される発言もあった。

表紙の思い出シリーズは、議会広報モニターを始め、住民からは好評を得ているため、あえて変えることをせず、改善策を取り入れるよう検討したい。